

2021年度

3月追加開催

来場かライブ配信(web)か選択できます!!

少数精鋭時代の保全マネジメント

計画保全士養成コース

▼5日間コース▼

第1単位：3日間

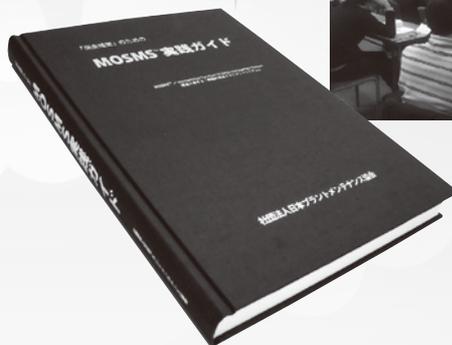
第2単位：2日間

単位毎に受講地区を選択できます

単位	日程	地区	場所(予定)
第1単位	2021年11月17日(水)～11月19日(金)	名古屋	名古屋大同生命ビル (名古屋市中村区名駅4-23-13)
	2022年1月19日(水)～1月21日(金)	東京	神保町SFⅢビル (東京都千代田区神田神保町3-3)
	2022年3月2日(水)～3月4日(金)	名古屋	名古屋大同生命ビル (名古屋市中村区名駅4-23-13)
第2単位	2021年12月2日(木)～12月3日(金)	名古屋	名古屋大同生命ビル (名古屋市中村区名駅4-23-13)
	2022年2月3日(木)～2月4日(金)	東京	神保町SFⅢビル (東京都千代田区神田神保町3-3)
	2022年3月24日(木)～3月25日(金)	名古屋	名古屋大同生命ビル (名古屋市中村区名駅4-23-13)

なぜいま、 計画保全が重要なのか？

- ・ 人手不足の時代だからこそ、
計画的な保全が必要！
- ・ ベテラン高度技能者の退職は
仕組みでカバー！
- ・ 設備自動化、高度化の環境下での
設備管理を学ぶ！



受講者全員にテキストならびに
「MOSMS実践ガイド」(A4版：346ページ)を贈呈します



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会

Japan Institute of Plant Maintenance

● ねらい

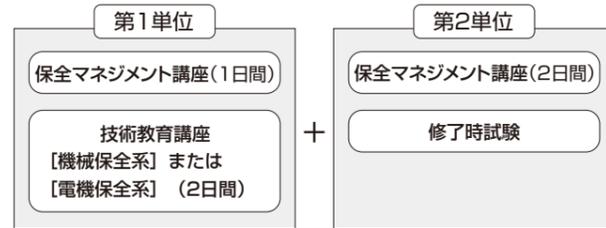
計画保全士養成コースは「製造現場における計画保全のマネジメントリーダー」の育成を目的としています。

● 「計画保全のマネジメントリーダー」とは？

- ①当該事務所方針に基づく保全の目的・目標を理解し、グループ・担当の中核として貢献する
- ②専門性や豊富な経験を活かし、自立的に重要な仕事にチャレンジする
- ③担当職務についての専門知識、豊富な経験、技術をもとに技術をマネジメントする力を有する
- ④中期的取り組みを必要とする重要な問題の解決ができる
- ⑤設備管理全体における計画保全の役割を理解し、自主保全を支援できる

● 講座の特徴

●MOSMS®（戦略的保全マネジメントシステム）で設定される計画保全のマネジメントリーダーに必要な機能を「保全マネジメント」と「保全を実行する専門技術」の学習により身につけます



- 各分野において経験豊富な講師陣となっています
- 演習や実践化研修により、実務で実際に役立つスキルを身につけます

- 他業種、他社の参加者との交流を通じて、人脈ネットワークを形成できるようになります
- 講座の修了と試験により、当会より「計画保全士」資格が付与されます。

● 講師

(公社)日本プラントメンテナンス協会
選任講師

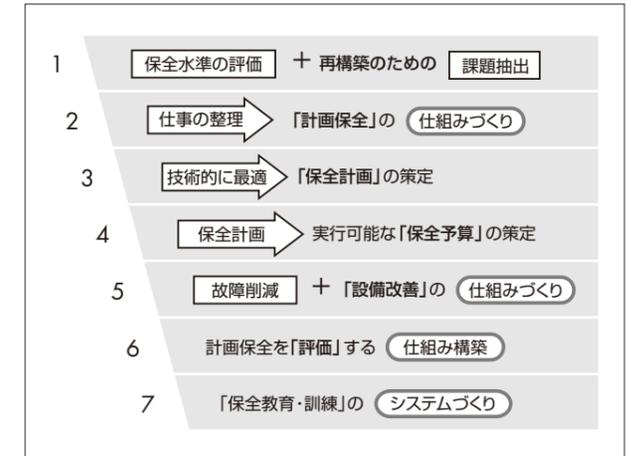
● 受講対象者

- 保安全管理者を目指すリーダーの方
- 工務部・保全部門の計画保全技術者

MOSMS (Maintenance Optimum Strategic Management System) = 「経営に資する戦略的保全マネジメントシステム」とは、計画主導で進める設備保全の仕組みの構築です。MOSMSは公益社団法人日本プラントメンテナンス協会の登録商標です。

◆保全経営力の強化には計画保全システムの再構築が重要です。

計画保全システムの再構築



計画保全士養成コースカリキュラム(予定) (第1単位の2日目・3日目は機械保全系・電機保全系のいずれかを事前に選択していただきます)

第1単位 (3日間)

第2単位 (2日間)

1日目

2日目・3日目

4日目・5日目

単位	科目名	講義内容(予定)
共通 (1日間) 10:00 ~ 17:00	計画保全士の役割	1 設備管理の歴史と保全の範囲 2 「計画保全士」の役割
	設備管理概論	1 故障物理と故障解析 2 リスクマネジメント 3 保全計画設定に役立つリスク手法例 4 FMEAによる保全方式の設定例

◆第1単位の2日目・3日目は「機械保全系」と「電機保全系」のいずれかを選択して分かれていただきます
※お一人で同時に受講はできませんのでご注意ください。

どちらかを選択

技術教育科目(選択制) 機械保全系

単位	科目名	講義内容(予定)
機械保全系 (2日間) 10:00 ~ 17:00	予知保全技術の概要と位置づけ	1 「計画保全の流れ」と「設備診断技術の連携」 2 保全方式の設定と機器別管理基準 3 振動法による設備状態監視フロー 4 設備の予知保全技術の要素 5 設備診断技術体系 6 設備診断技術の種類 7 CBMと設備診断技術 8 設備診断技術の導入効果 9 計画保全と設備総点検管理
	回転機器の機械要素損傷	1 転がり軸受の損傷の種類と発生メカニズム 2 すべり軸受の損傷の種類と発生メカニズム 3 歯車の損傷の種類と発生メカニズム
	回転機器の予知保全技術	1 回転機器の診断技術 2 振動診断の基礎 3 振動傾向管理の活用事例 4 振動診断事例 5 低速回転機械の診断 6 潤滑油診断技術 7 電動機電流光検解析 MCSA 8 振動周波数変調解析法によるすべり軸受の診断 9 IoT活用による予知保全の推進
	材料の一般的な損傷	1 一般的な劣化現象 2 劣化モードと劣化形態、劣化メカニズム 3 腐食への影響因子
電機保全系 (2日間) 10:00 ~ 17:00	静止機器の予知保全技術	1 静止機器の劣化診断技術 2 各種非破壊検査技術の種類と特徴 3 法令に基づく非破壊検査 4 各検査法の特長と注意点 5 腐食モード別発生しやすい部位と検査方法及び対策の視点
	高経年化設備への対応	1 高経年化設備の状況 2 静止機械高経年化設備への考慮すべき事項 3 高経年化設備の材料劣化と管理 4 高経年化劣化の代表：炭素鋼設備の減肉 5 事故事例 6 高経年化設備の保全の方法論 7 具体的な取り組み(設備管理シート) 8 高経年化設備管理のまとめ
	電機システムの劣化メカニズムと劣化診断の要素技術	1 電機システム構成品の劣化メカニズム要旨 2 絶縁油の劣化診断技術 3 絶縁紙の余寿命診断技術 4 合成樹脂の劣化診断技術
電機保全系 (2日間) 10:00 ~ 17:00	受変電設備の予知保全技術	1 電機設備の構成機器 2 油入変圧器の予知保全技術 3 モーロード変圧器の予知保全技術 4 遮断器の予知保全技術 5 ガス開閉装置(GIS)の予知保全技術 6 避雷器の予知保全技術 7 電力用コンデンサの予知保全技術 8 配電盤の予知保全技術 9 高圧ケーブルの予知保全技術 10 簡易劣化診断法(共通) 11 保護継電システム
	ドライブシステム・回転機の予知保全技術	1 ドライブシステムの予知保全技術 2 汎用インバータの予知保全技術 3 高圧回転機の予知保全技術 4 低圧回転機の予知保全技術
	電子制御装置の予知保全技術	1 電子制御装置の劣化診断技術 2 バッテリーの予知保全技術
	機器別管理基準(例)	1 機器別管理基準：油入変圧器(例) 2 機器別管理基準：高圧ケーブル(例) 3 機器別管理基準：高圧回転機(例) 4 機器別管理基準：高圧受電盤(例)
最近の関連技術	1 RFID応用技術 2 オンライン診断 3 リモート監視 4 Y線応用技 5 光応用技術 6 最近の解析技術と応用例 7 機能安全と保全の関係	

合流

単位	科目名	講義内容(予定)
共通 (2日間) 10:00 ~ 17:00	保全計画の策定	1 保全計画作成の流れ 2 保全方式の選定 3 予備品管理計画の作成 4 設備維持・更新投資計画の策定 5 保全予算の策定 6 保全評価指標の設定
	計画保全の実行	1 保全業務の実行管理
	故障削減と改善の仕組みづくり	1 故障削減活動 2 設備改善の仕組みづくり 3 「計画保全主導の改善活動」の進め方の事例 4 基本整備による改善の事例
	保全水準評価と保全体制の再構築	1 再構築は「C」から始まる 2 「保全水準評価」システムの構築 3 計画保全システムの再構築の視点 4 計画保全システムの再構築事例
〈修了試験と認定証書の授与〉		

※カリキュラムは一部変更になる場合があります
※テキストはすべてカラーでご提供いたします

参加申込み規定

● 参加料

(公社)日本プラントメンテナンス協会 会員(正会員、事業所会員) (一社)日本能率協会 法人会員	137,500円(税込)/1名 (本体価格125,000円消費税12,500円)
一 般	203,500円(税込) 1名 (本体価格185,000円消費税18,500円)

※参加料には、テキスト(資料)代が含まれております。昼食の提供はございませんので、近隣の飲食店をご利用ください(会場・ビル内の食事はできません)

● 会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会HP

⇒<https://www.jipm.or.jp/company/memberlist/>



一般社団法人日本能率協会HP

⇒<https://list.jma-member.com/>



会員以外の方は、この機会にぜひ小会会員へのご入会をご検討ください。

● 参加申込方法・参加料支払方法

- ・派遣窓口で担当者、および参加者が「参加申込み規定」に同意したうえで、下記WEBサイトよりお申し込みください。FAXでのお申し込みはできません
- ・参加申込みは開催前日まで受け付けますがテキストなどご用意できないこともございますので、お早めにお申し込みください
- ・開催の約2週間前より派遣窓口で担当者様あてに請求書を送付しますので、小会指定の銀行口座にお振込みください。なお、振込み手数料は貴社にてご負担ください。

↓ お申込みはこちら ↓



<http://www.jipm.or.jp/>

セミナー情報>技術教育>技術マネジメント教育

● ライブ配信での参加について

- ・WEB会議システム「Zoom」を利用します。お申し込み前に下記QRコードまたはURLの「手順」にて接続できることを必ずご確認ください



<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/115002262083>

- ・Zoomにて、カメラ、マイクの機能を使用できない場合は、事前にご連絡ください
- ・参加者側のネットワーク環境に伴う視聴の不具合に関して、小会ではその責任を負いかねます
- ・参加者のメールアドレスあてに参加URLを、テキスト送付先にテキストを開催2日前までに送付しますので、事前にご確認ください

■ 免責事項

天災地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の小会が管理できない事由により研修内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、小会ではその責任を負いかねます。

■ 個人情報に関する取り扱いについて

ご記入いただいた個人情報は、当セミナーの運営・管理・資料送付、出欠の確認等に利用いたします。また、後日、小会より事業・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がございます。小会は、ご提供いただいた個人情報を小会のプライバシーポリシーに則って安全対策を施し適切に管理いたします。小会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、小会ホームページ(<http://www.jipm.or.jp/>)をご覧ください。

● 集合での参加について

- ・集合での参加は定員制です。定員となりましたらライブ配信にお申込みください
- ・開催の約2週間前より派遣窓口で担当者様あてにご送付する請求書に受付票(会場地図あり)を同封します。受付票は、開催当日にご持参ください
- ・テキストは、開催当日に配布します

● 感染予防の対策について

- ・厚生労働省などの指針に従って感染予防の対策を実施いたします。

新型コロナウイルス
感染拡大の防止対策のうえ
開催いたします。



防止対策
について

<http://www.jipm.or.jp/offer/?id=1594282913-296511>

● お願い・お断り

- ・録音・録画・撮影、およびSNSへの投稿は厳禁です。守られなかった場合、著作権・肖像権侵害として対処することがございます。また今後の参加をお断りすることがございます
- ・下記の規定によりキャンセル料を申し受けますのであらかじめご了承ください

- 開催当日および前日の参加取消し……………参加料全額
(参加料入金済の場合、返金しません)
- 開催の2日前～7日前の参加取消し……………参加料の30%
(参加料入金済みの場合、70%を返金いたします)

※いずれも土日曜・祝祭日は、上記日数に含まれません

■ お申込みについての問合せ先

セミナー受付センター(株式会社アイ・イーシー内)

電話: 049-257-5409 E-mail: seminar@iej.com

※小会ではセミナー・イベントの申込手続きに関する業務を株式会社アイ・イーシーへ委託しております

■ 講座内容についての問合せ先

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会 普及推進部

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-3 神保町SFⅢビル 5階

電話: 0120-451-466(または03-6865-6081)

E-mail: FUKYU@jipm.or.jp